

**NSW**

2022年3月期  
決算説明

2022年5月16日

# 目次

1. 2022年3月期決算概況

2. 新中期経営計画

3. DX FIRSTに向けた取り組み

# 2022年3月期決算概況

# 決算ハイライト

## 過去最高業績を更新、10期連続増収増益

売上高

43,452 百万円

前年同期比

+10.6 %

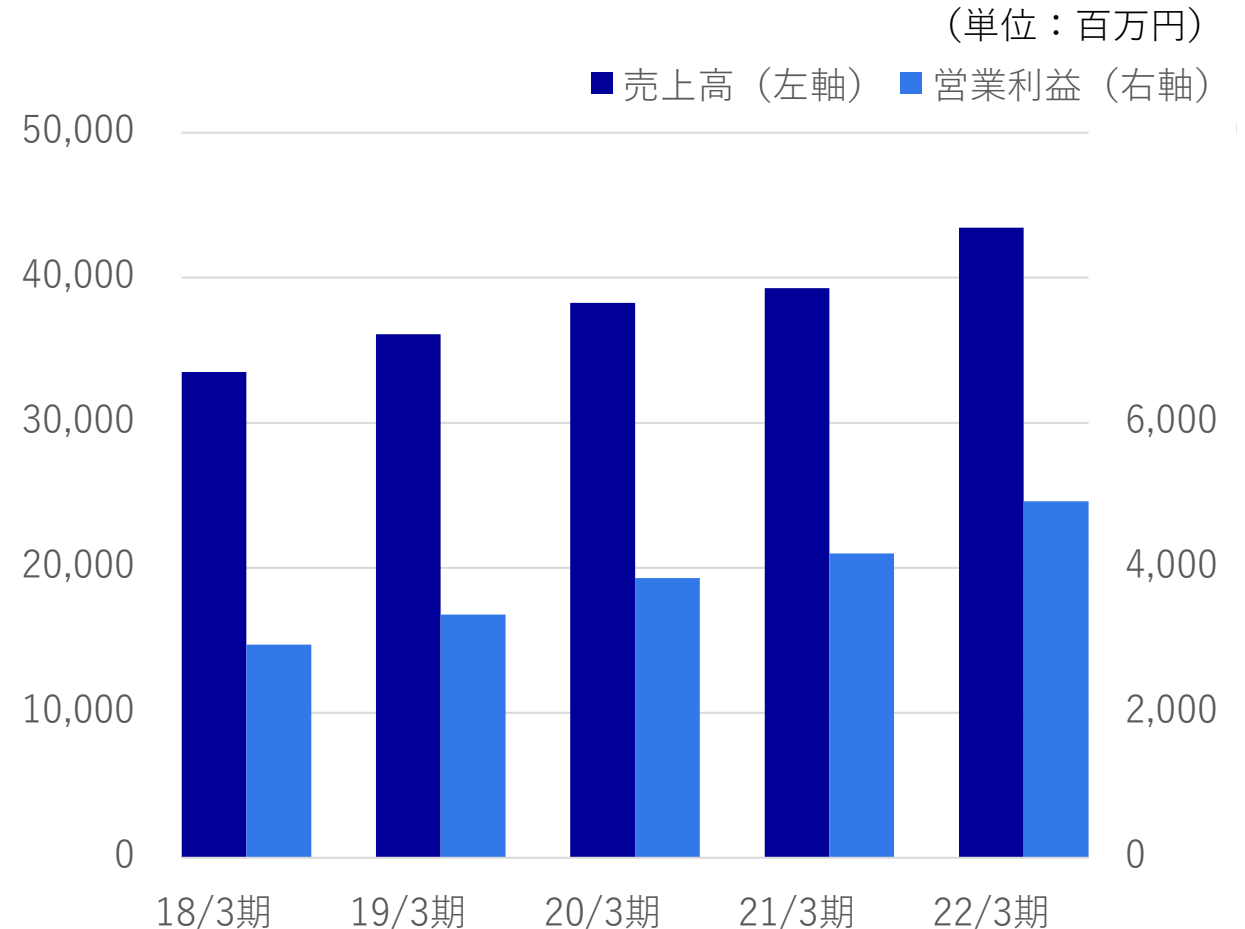
営業利益（率）

4,919 百万円  
(11.3 %)

前年同期比

+17.2 %  
(+0.6p)

国や自治体の各種補助金申請  
システム案件を複数受注。  
業績に大きく寄与



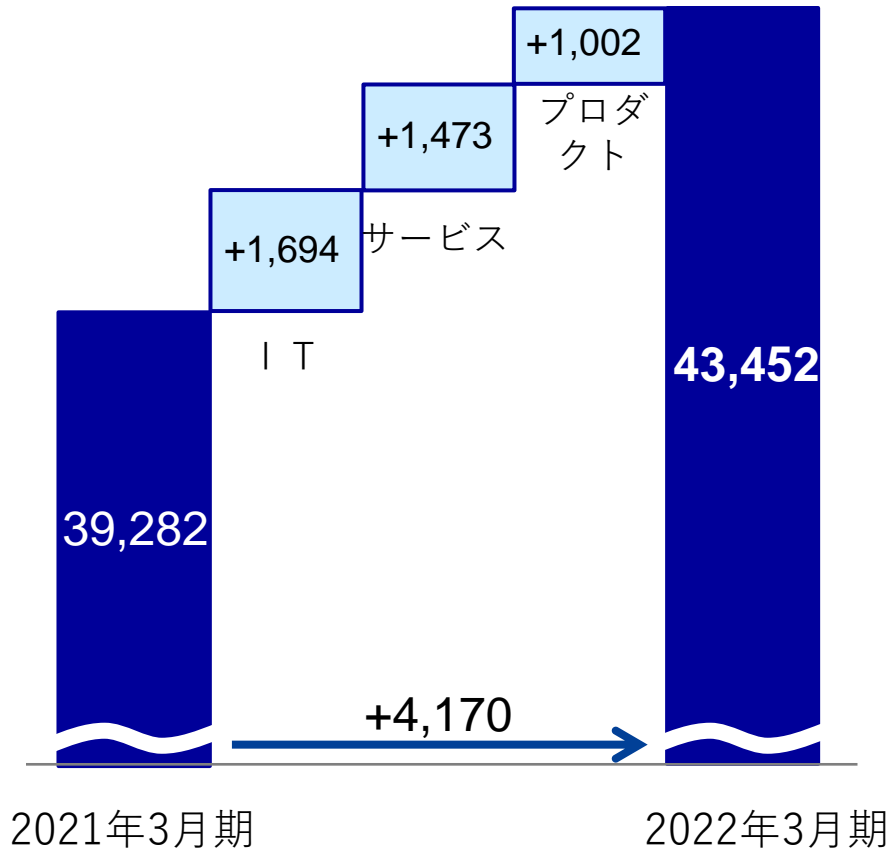
# 連結業績 概要

(単位：百万円)

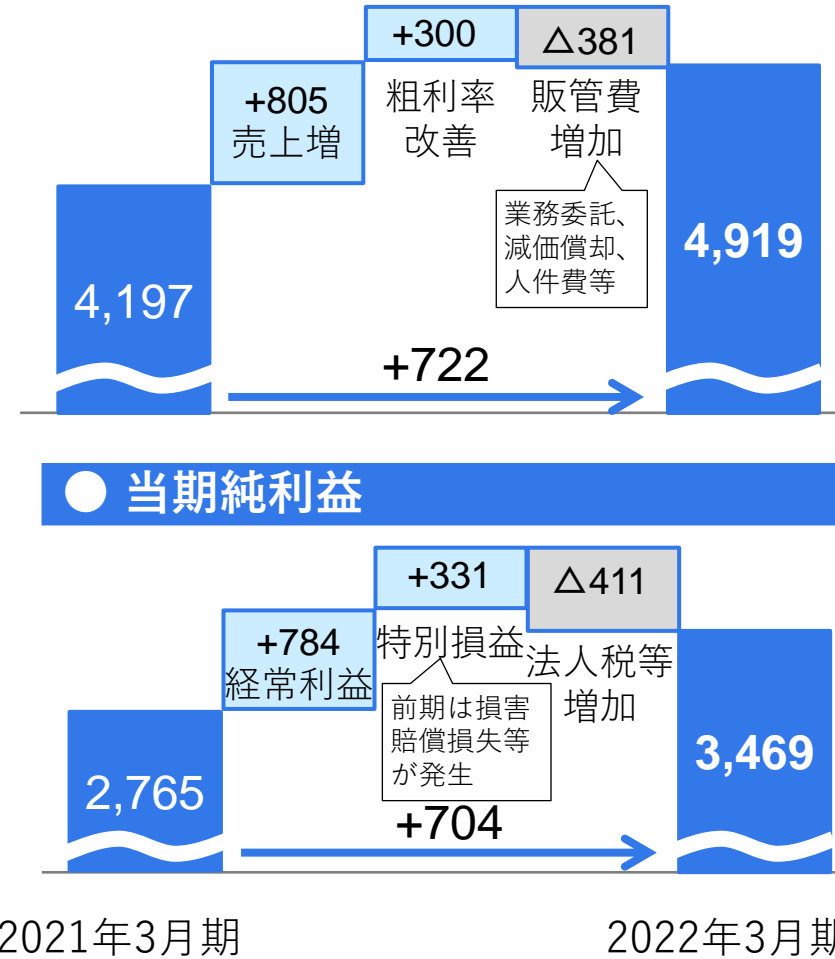
	2022年3月期 実績	計画比		前年同期比		計画	2021年3月期 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	<b>43,452</b>	+1,452	+3.5%	+4,170	+10.6%	42,000	39,282
営業利益	<b>4,919</b>	+619	+14.4%	+722	+17.2%	4,300	4,197
┌ 同率	<b>11.3%</b>	+1.1p	/	+0.6p	/	10.2%	10.7%
経常利益	<b>5,025</b>	+685	+15.8%	+785	+18.5%	4,340	4,240
┌ 同率	<b>11.6%</b>	+1.3p	/	+0.8p	/	10.3%	10.8%
当期純利益	<b>3,469</b>	+519	+17.6%	+704	+25.5%	2,950	2,765
┌ 同率	<b>8.0%</b>	+1.0p	/	+1.0p	/	7.0%	7.0%
受注高	<b>43,177</b>	/		+3,243	+8.1%	/	
受注残高	<b>15,056</b>			△275	△1.8%		

# 売上高・利益の増減要因（前年同期比）

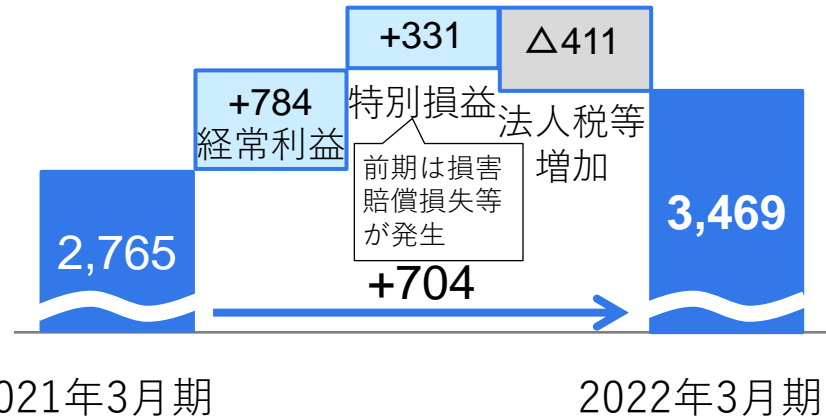
## ● 売上高



## ● 営業利益



## ● 当期純利益



# ITソリューションセグメント概況

(単位：百万円)

	2022年3月期 実績	計画比		前年同期比		計画	2021年3月期 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	<b>14,896</b>	+696	+4.9%	+1,694	+12.8%	14,200	13,202
ビジネスソリューション	<b>4,552</b>	/		+466	+11.4%	/	
金融・公共ソリューション	<b>7,597</b>			+1,150	+17.8%		
システム機器販売	<b>2,745</b>			+76	+2.9%		
営業利益	<b>1,968</b>	+568	+40.6%	+670	+51.6%	1,400	1,298
同率	<b>13.2%</b>	+3.3p	/		+3.4p	9.9%	9.8%
受注高	<b>13,691</b>	/			+608	+4.7%	/
受注残高	<b>4,857</b>			△1,204	△19.9%	6,061	

## ビジネスソリューション

- 製造業・物流業向け  
ビジネス拡大に向けた事業転換が進み、ERP、PLM関連が順調推移
- 小売業向け  
店舗系システムを中心に増加

## 金融・公共ソリューション

- 官公庁・団体向け  
補助金申請システム案件の他、既存顧客案件も拡大
- 金融・保険業向け  
損保向けの車保関連システム開発などが増加

## システム機器販売

- 上期を中心に小売業向けセミセルフレジ・POS関連が増加

# サービスソリューションセグメント概況

(単位：百万円)

	2022年3月期 実績	計画比		前年同期比		計画	2021年3月期 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	<b>11,854</b>	+554	+4.9%	+1,474	+14.2%	<b>11,300</b>	<b>10,380</b>
デジタルソリューション	<b>2,941</b>	/		+136	+4.9%	/	
クラウド・インフラサービス	<b>8,912</b>			+1,337	+17.7%		
営業利益	<b>525</b>	△125	△19.1%	△39	△6.8%	<b>650</b>	<b>564</b>
同率	<b>4.4%</b>	△1.4p	/		△1.0p	<b>5.8%</b>	<b>5.4%</b>
受注高	<b>12,386</b>	/			+1,546	+14.3%	/
受注残高	<b>5,521</b>			+532	+10.7%	<b>4,989</b>	

## デジタルソリューション

- IoT・AI  
IoT関連ライセンス販売等は堅調推移も、不採算案件の対応により機会損失が発生
- WEB・EC  
既存顧客向けを中心に受注は好調も、一部案件の売上スライド等が影響し減少

## クラウド・インフラサービス

- クラウド  
補助金申請システム案件やクラウド移行案件が好調推移
- インフラ・その他サービス  
データ連携やBPOサービスが好調推移



# プロダクトソリューションセグメント 概況

(単位：百万円)

	2022年3月期 実績	計画比		前年同期比		計画	2021年3月期 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	<b>16,701</b>	+201	+1.2%	+1,002	+6.4%	<b>16,500</b>	<b>15,699</b>
組込み開発	<b>9,715</b>	/		+834	+9.4%	/	
デバイス開発	<b>6,986</b>			+169	+2.5%		
営業利益	<b>2,425</b>	+175	+7.8%	+89	+3.8%	<b>2,250</b>	<b>2,335</b>
同率	<b>14.5%</b>	+0.9p	/		△0.4p	<b>13.6%</b>	<b>14.9%</b>
受注高	<b>17,098</b>	/			+1,088	+6.8%	/
受注残高	<b>4,677</b>			+397	+9.3%	<b>4,280</b>	

## 組込み開発

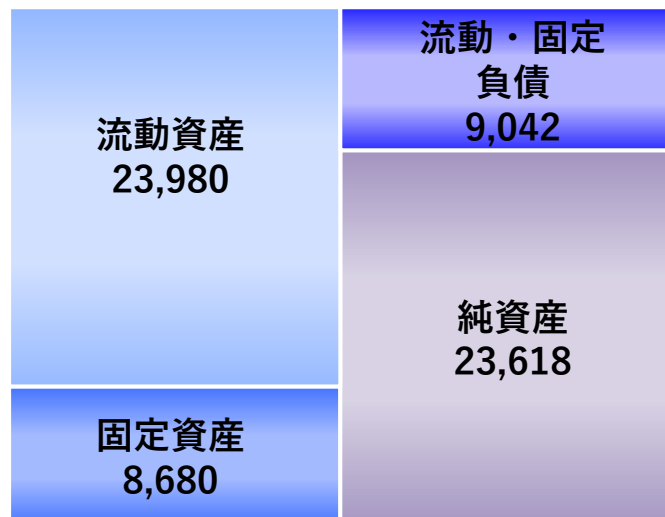
- 設備機器  
放送設備関連や決済端末等が好調推移
- オートモーティブ  
CASE、ADAS関連が拡大。IVI関連縮小
- 通信  
5G/ローカル5G、次世代通信関連への新規対応で拡大
- モバイル  
キャリア向けアプリ開発など増加

## デバイス開発

- 世界的な半導体供給不足はあるものの、LSIの設計・開発は堅調に推移

# 連結貸借対照表

2021年3月期末



総資産 32,660百万円

2022年3月期末



総資産 36,813百万円

主な要因

## 【資産】

現金及び預金の増加	+2,793
売掛金の増加	+1,128
仕掛品の増加	+451
のれんの増加	+172

## 【負債】

未払法人税等の増加	+603
買掛金の増加	+222
賞与引当金の増加	+221

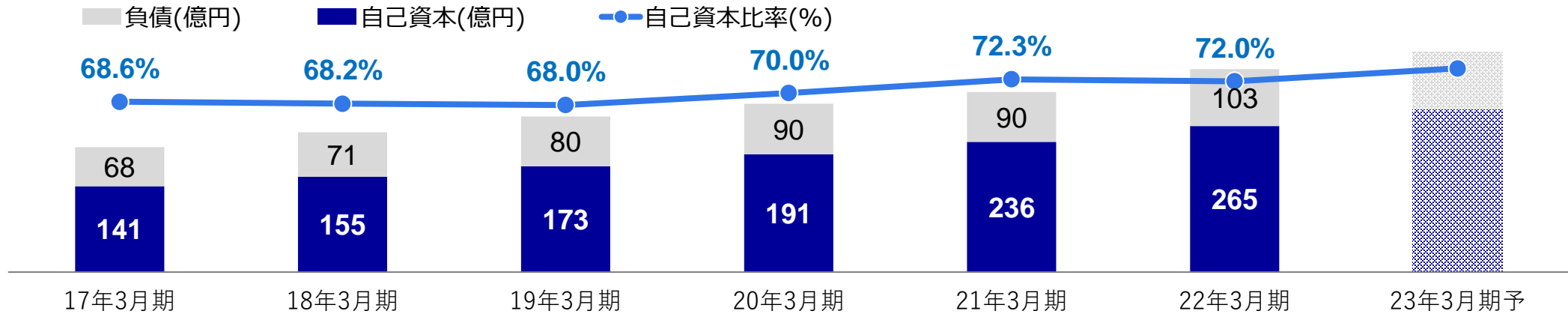
## 【純資産】

当期純利益	3,469
配当金の支払	△595

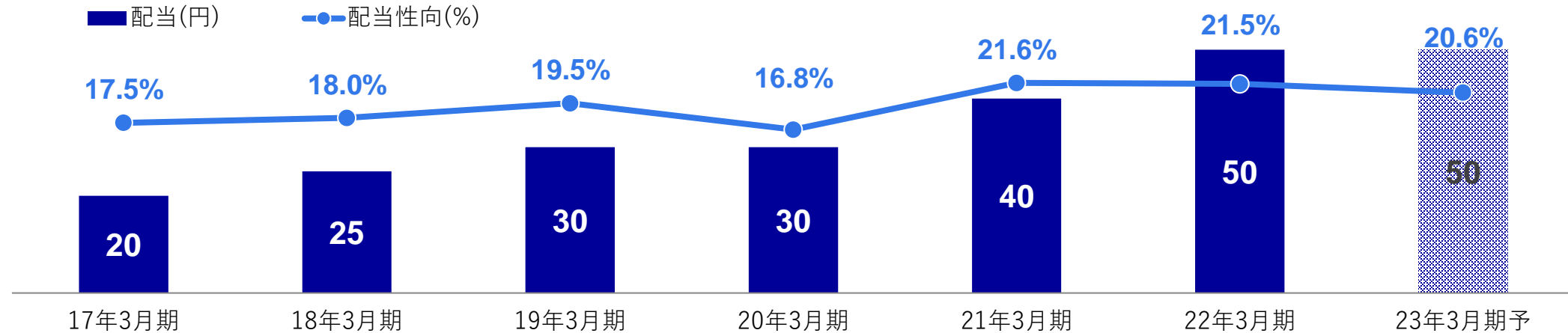
	2021年3月期末	2022年3月期末	前期末比
自己資本比率	72.3%	72.0%	△0.3p
自己資本当期純利益率 (ROE)	12.3%	13.8%	+1.5p
総資産経常利益率 (ROA)	13.4%	14.5%	+1.1p

# 資本政策と株主還元方針

## ● 高い自己資本比率を維持

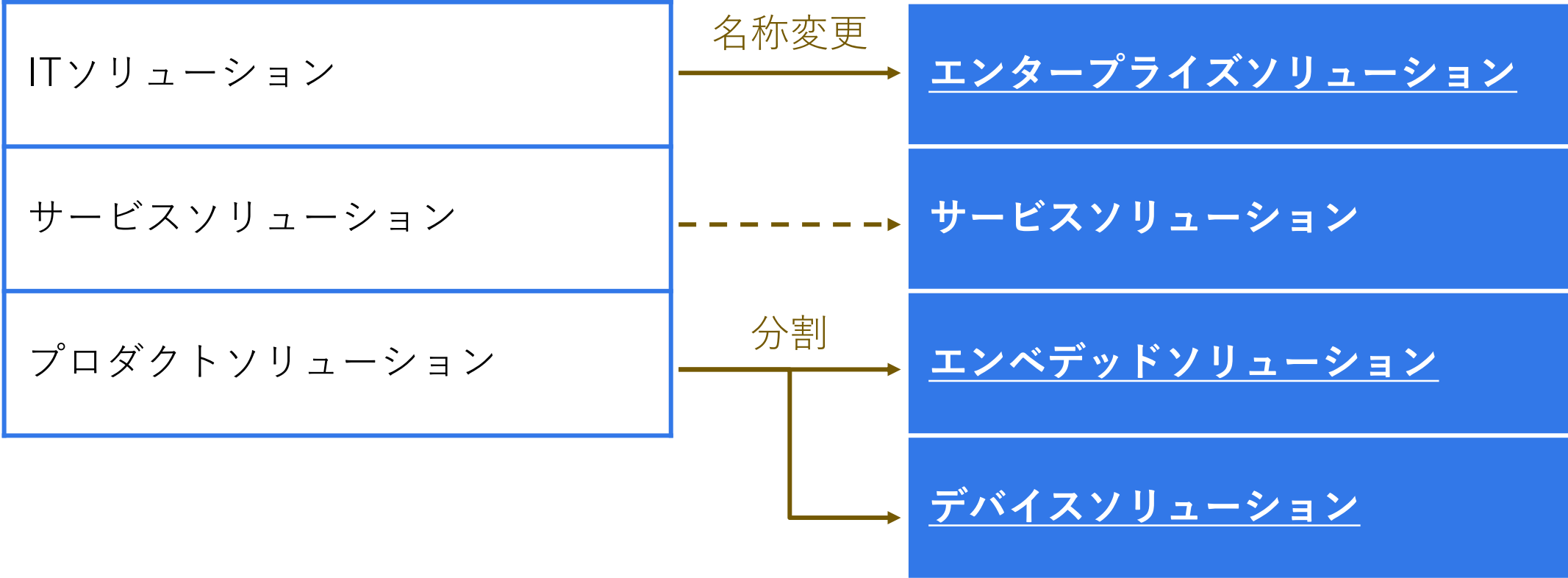


## ● 安定的な配当を継続



# 報告セグメント区分の変更

各事業の強化・拡大を図るとともに、今後の事業展開を見据え、事業推進体制を再編。新中期経営計画にあわせて報告セグメント区分を以下のとおり変更



# 商号変更

2022年8月3日、日本システムウエアは  
「NSW」へ商号を変更します

## NSW 株式会社 (英文表記：NSW Inc.)

1966年の創業以来、ソフトウェア開発からデバイス開発、システムインテグレーション、さらにクラウドサービス、IoT・AIビジネスへと、時代の要請とともに事業領域を拡大してまいりました。このたび、新たなステージへの飛躍を期し、新たな商号でスタートします。これからもNSWグループは、新たな事業や技術分野に果敢に挑戦し続けるとともに、ステークホルダーの皆様のご期待にお応えできるよう邁進してまいります。

# 前中期経営計画振り返り 2019年4月～2022年3月

# 前中期経営計画 総括 (1)

- 2022年3月期は前中計最終年度の目標を全項目達成

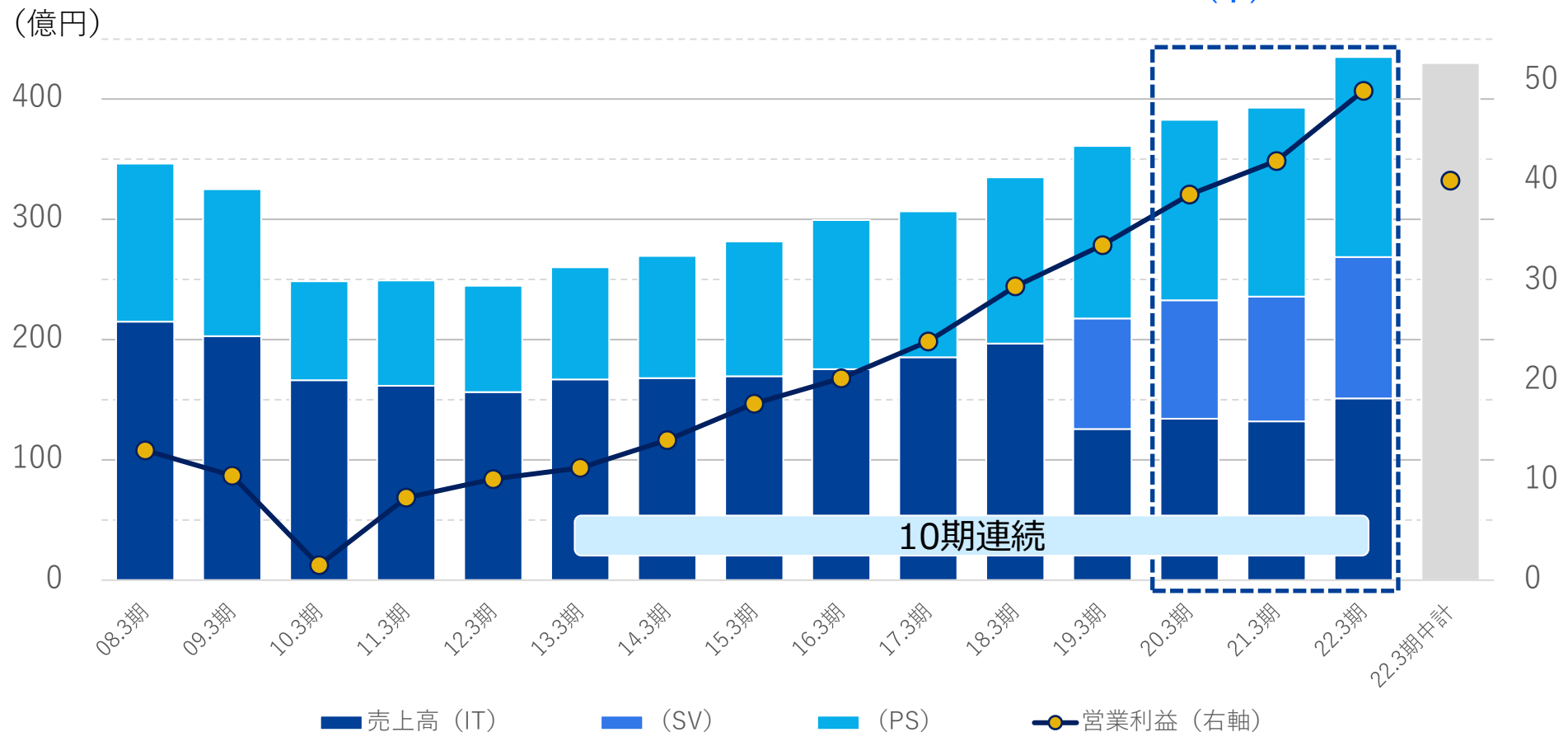
(単位：百万円)

	2022/3期 目標	2022/3期 実績	CAGR
売上高	43,000	43,452	6.4%
営業利益	4,000	4,919	13.6%
同率	9.3%	11.3%	
経常利益	4,040	5,025	13.8%
同率	9.4%	11.6%	
当期純利益	2,800	3,469	14.9%
同率	6.5%	8.0%	

# 前中期経営計画 総括 (2)

## ●10期連続の増収増益

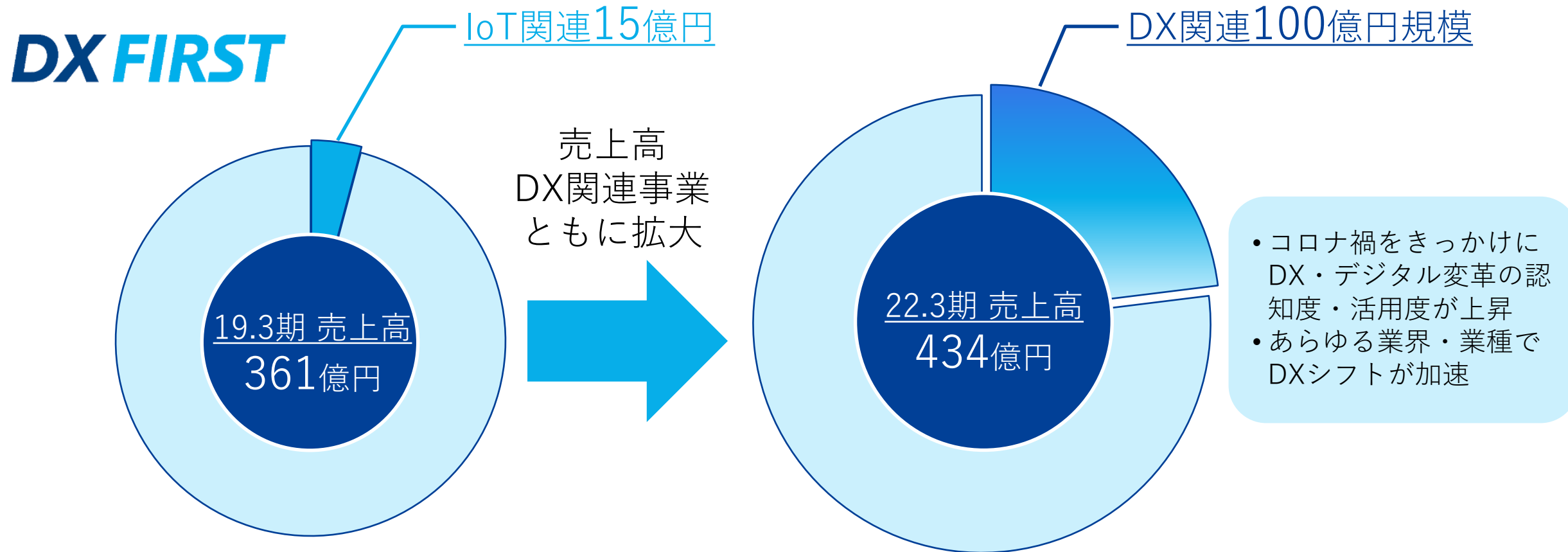
中計目標  
 売上高：434億 430億  
 営業利益：49億 40億  
 (率)：11.3% 9.3%





# 前中期経営計画 総括 (3)

DXに対する市場からの高い期待を背景に、DX関連の事業規模は拡大



# 中期経営計画 2022年4月～2025年3月

# 中期経営計画 サマリー

基本方針

デジタル変革による社会と企業の持続的成長の両立  
～技術と知によりお客様とビジネスを共創するSierへの進化～

コンセプト

DX FIRST

共創

重点戦略

①DX実現による顧客価値の追求  
事業変革パートナーとしてのビジネス拡大

②選択と集中による収益力強化  
高付加価値分野へのリソース投下

③将来成長に向けた戦略的投資  
事業創出に向けた技術習得・先行投資

共通戦略

人材戦略

- 採用チャネルの多様化
- 人材育成プログラムの強化

パートナー・アライアンス  
戦略

- 戦略的パートナー拡充
- 国内・海外BP活用

デジタル戦略

- ITインフラ強化
- 業務プロセス最適化

環境認識

- コロナ禍でも通信インフラ、ソフトウェア、IaaS等を中心にIT投資は拡大トレンド
- IT、製造業だけでなくサービス業・農業等も含めDXが加速
- 気候変動や地政学リスク等、不確実性の高まりへのレジリエンス強化

業績目標（連結）

売上高

500億円

営業利益率

11%

# 環境認識

## IT市場の拡大トレンド

- コロナ禍において、デジタル化や事業変革の必要性の認識が高まり国内IT市場は成長が見込まれる

## DXの加速

- DXは製造業をはじめとする幅広い分野で拡大
- 大企業のみならず、中堅・中小企業にもデジタル化が進展

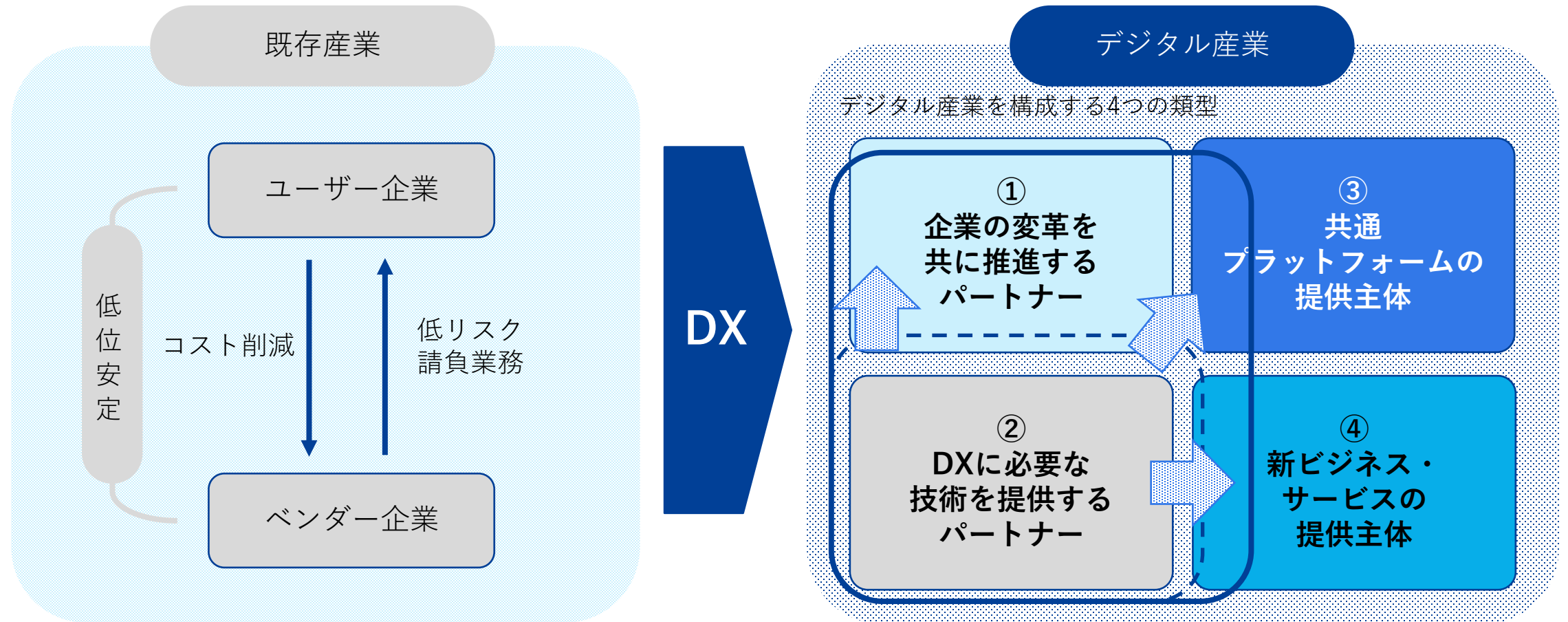
## 不確実性の高まる時代

- 不確実性の高い社会に対応するための企業変革が必須
- SDGsやESG等の社会課題を背景にした、サステナビリティ経営へのシフトの動き

## 今後の事業環境

- IT市場は引き続き着実に伸長。中でもDXは、企業規模、業種とも対象が広がり、市場成長を牽引
- 当社のビジネスも、DXを中心に更なる成長が期待できる事業環境
- あわせて、サステナビリティ等社会課題への貢献も重要なテーマに

# IT業界の現状と当社が目指す方向性

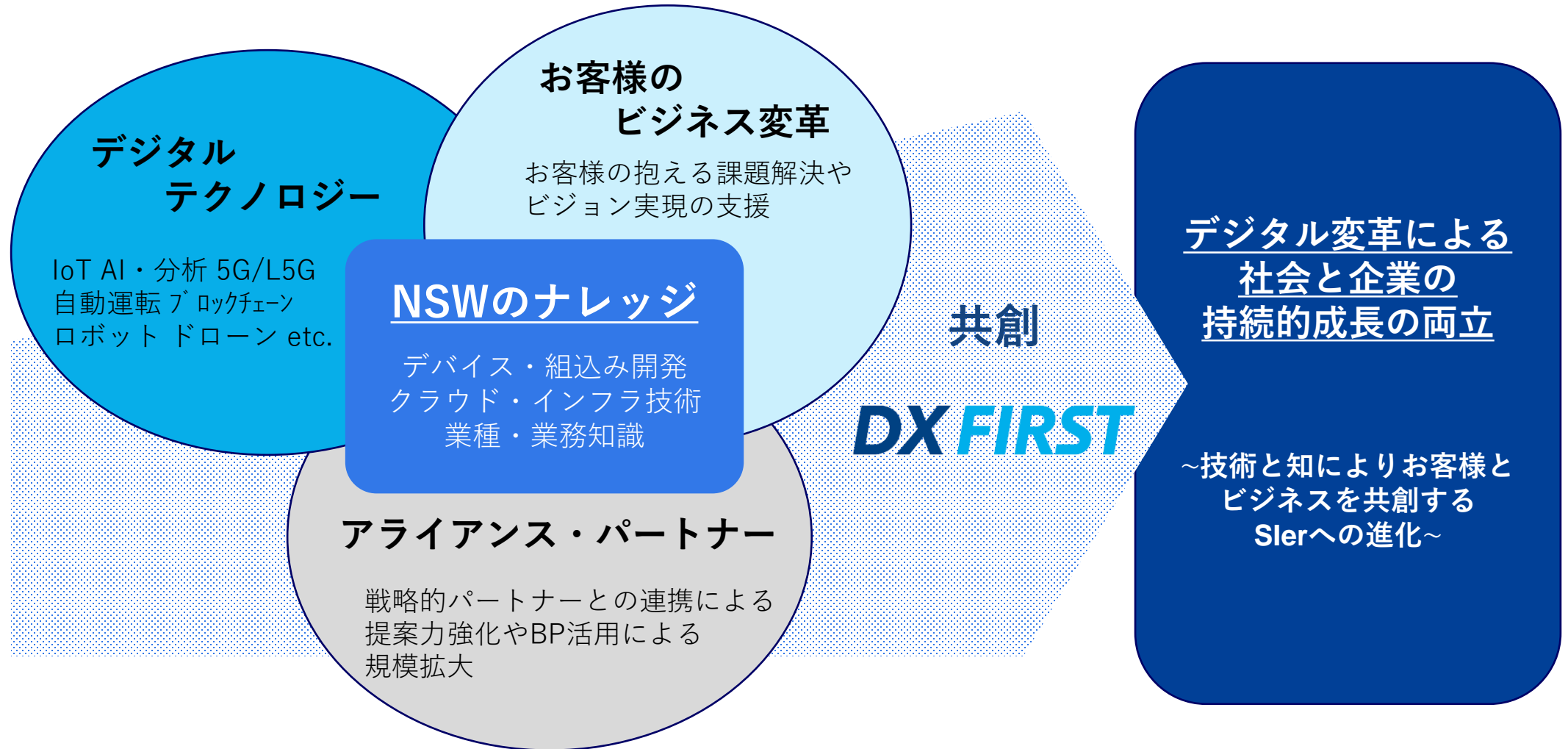


低リスクの請負型ITビジネスを続ける企業は、デジタル競争で必要な能力を得られない敗者に。

「技術を提供するパートナー」から「企業変革を共に推進するパートナー」にも領域を拡大。

出典：経産省DXレポート2.1を基に当社が作成

# 中期経営計画 基本方針



# 中期経営計画 重点戦略

## DX実現による 顧客価値の追求

成長期待の大きいデジタル領域で、  
お客様の事業変革を共に実現する  
ことをビジネス化

- ✓ 「変革推進・パートナー」  
としてお客様の変革を共に  
推進
- ✓ 競争力の源泉となるデジタル  
技術の深化と領域拡充

## 選択と集中による 収益力強化

収益性の高い分野へのリソース集  
中による、事業基盤の強化

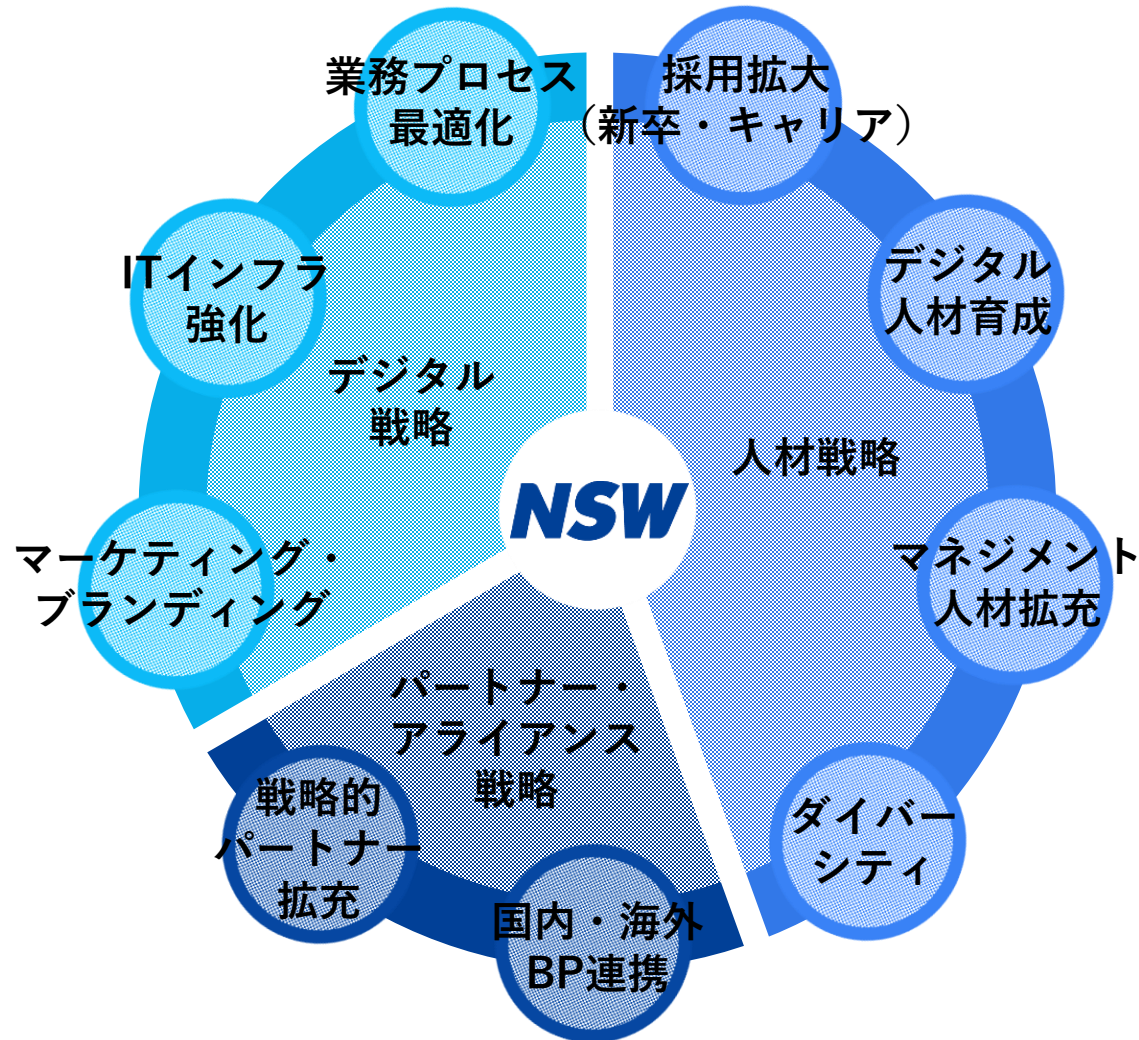
- ✓ IoT、AI、ERP、SCM、  
BPO、次世代ネットワー  
ク事業等を重点分野に
- ✓ 成長の基盤として収益力  
を強化

## 将来成長に向けた 戦略的投資

新しいソリューション・サービス  
創出のための取り組み

- ✓ EVやロボティクス等を戦略  
的分野と位置づけ
- ✓ 事業創出に向けた技術習得  
とナレッジ蓄積と、M&A等  
の先行投資

# 中期経営計画 共通戦略



## 人材戦略

- 国籍や性別を問わない優秀な人材の確保・登用
- 新卒/キャリア採用拡大、デジタル人材育成、マネジメント人材の採用・強化

## パートナー・アライアンス戦略

- 当社の技術や提案領域を強化するアライアンスの拡大
- 事業推進に向けたビジネスパートナーとの連携強化

## デジタル戦略

- 社内DX推進に向けたIT基盤の整備
- 商号変更など企業ブランディングの一新



# サステナビリティへの取り組み

## Humanware By Systemware

社員一人ひとりの個性、感性、創造性を最大限に発揮し、社会の豊かさにつながる優れたシステムを創り出す

企業理念に基づく事業活動を通じ、持続可能な社会の実現に貢献

社会課題の解決



企業としての持続的な成長

E 環境	S 社会	G ガバナンス
環境改善につながるソリューション提供	人材育成・強化	コンプライアンス
気候変動への対応	ダイバーシティ	リスクマネジメント

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	3 すべての人に健康と福祉を	5 ジェンダー平等を実現しよう	8 働きがいも経済成長も	10 人や国の不平等をなくそう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう
----------------------	-------------------	------------------	---------------	-----------------	----------------	-----------------	--------------	-----------------	-----------------	----------------------

# グループ経営目標

(単位：百万円)

	2022/3期 実績	2023/3期 計画	前期比		2025/3期 計画	CAGR
			増減額	増減率		
売上高	43,452	<b>45,000</b>	+1,547	+3.6%	<b>50,000</b>	+4.8%
営業利益	4,919	<b>5,000</b>	+80	+1.6%	<b>11%</b>	
同率	11.3%	<b>11.1%</b>	△0.2p			
経常利益	5,025	<b>5,040</b>	+14	+0.3%		
同率	11.6%	<b>11.2%</b>	△0.4p			
当期純利益	3,469	<b>3,450</b>	△19	△0.6%		
同率	8.0%	<b>7.7%</b>	△0.3p			

# 業績目標（セグメント）

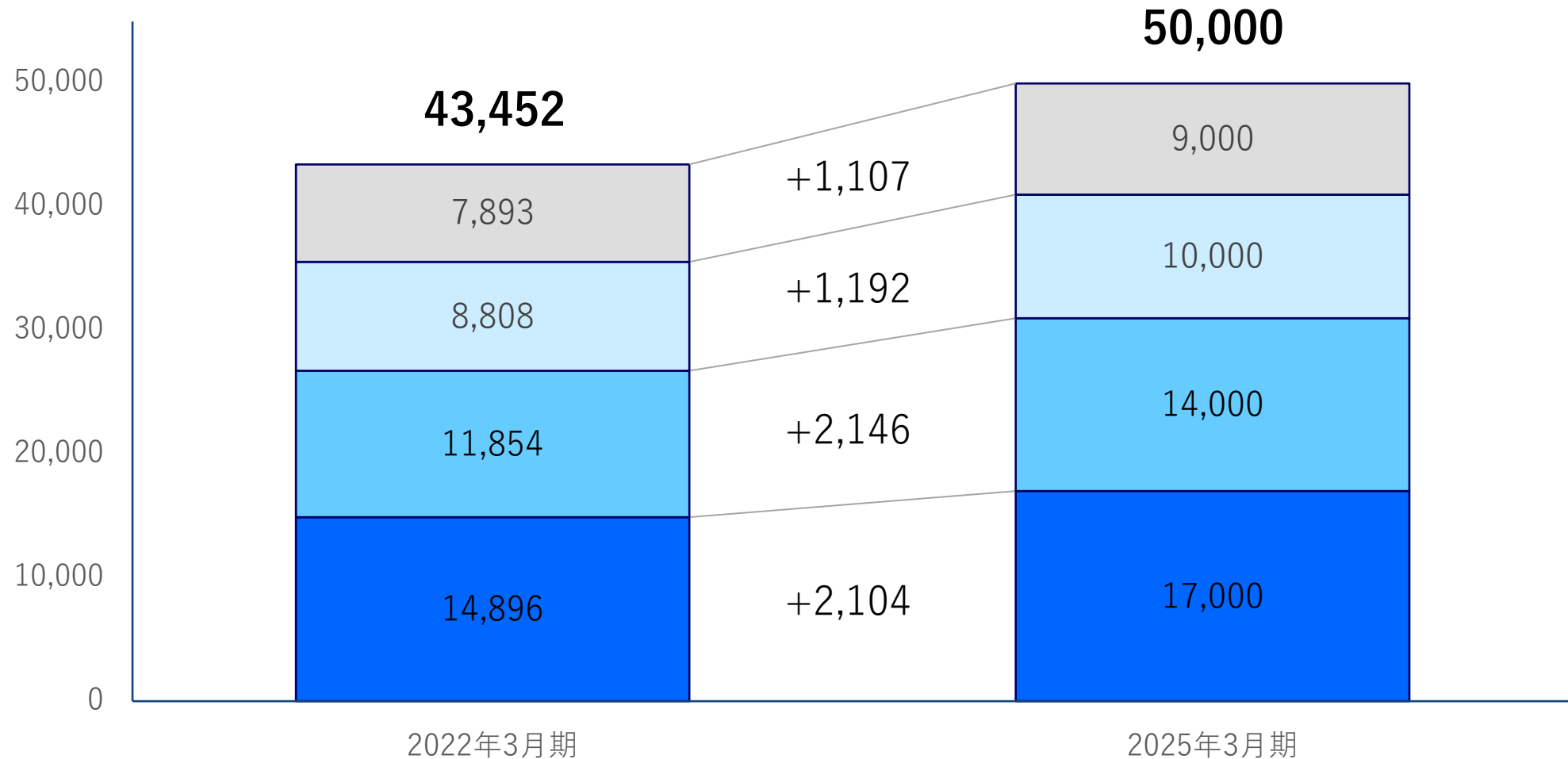
■ IT/EPソリューション

■ サービスソリューション

■ エンベデッドソリューション

■ デバイスソリューション

(単位：百万円)



# エンタープライズソリューション 事業方針

- 各業種ノウハウを生かしたDXオフアリング推進
  - 【流通】 ESL/欠品検知/接客/配送/EC通販連携
  - 【製造】 ERP/デジタル生産支援/物流改革/AI図面
  - 【物流】 AI配送/画像識別/ロボティクス/卸向けSCM
  - 【金融】 クラウドシフト/モダナイゼーション
  - 【公共】 デジタルガバメント政策対応

## ■ 目標

	2022/3期 実績	2023/3期 計画	前期比		2025/3期 計画
			増減額	増減率	
売上高	14,896	<b>15,300</b>	+403	+2.7%	<b>17,000</b>
営業利益	1,968	<b>1,880</b>	△88	△4.5%	<b>13%</b>
同率	13.2%	<b>12.3%</b>	△0.9p		

# サービスソリューション 事業方針

- お客様のDX部門へのアプローチを強化し、DX推進を支援
- ビジネスモデル変革事業の対応領域を拡大
- クラウドネイティブへの対応強化と、データマネジメント領域の拡大

## ■ 目標

	2022/3期 実績	2023/3期 計画	前期比		2025/3期 計画
			増減額	増減率	
売上高	11,854	<b>12,300</b>	+445	+3.8%	<b>14,000</b>
営業利益	525	<b>690</b>	+164	+31.2%	<b>7%</b>
同率	4.4%	<b>5.6%</b>	+1.2p		

# エンベデッドソリューション 事業方針

- 既存の組込み技術領域を活用したサービスの創出
- エッジコンピューティング分野の推進
- 自動運転や5G/6Gなど成長分野への取り組み強化と事業拡大

## ■ 目標

	2022/3期 実績	2023/3期 計画	前期比		2025/3期 計画
			増減額	増減率	
売上高	8,808	<b>9,100</b>	+291	+3.3%	<b>10,000</b>
営業利益	1,217	<b>1,220</b>	+2	+0.2%	<b>13.5%</b>
同率	13.8%	<b>13.4%</b>	△0.4p		

# デバイスソリューション 事業方針

- LSI開発技術を基盤としたデザインサービスの拡大
- クラウドデザインサービス事業への展開
- DeepLearningをコアとした事業推進

## ■ 目標

	2022/3期 実績	2023/3期 計画	前期比		2025/3期 計画
			増減額	増減率	
売上高	7,893	<b>8,300</b>	+406	+5.2%	<b>9,000</b>
営業利益	1,207	<b>1,210</b>	+2	+0.2%	<b>14.5%</b>
同率	15.3%	<b>14.6%</b>	△0.7p		

# DX FIRSTに向けた取り組み



## **DX FIRST**

お客様のDX実現を先導する企業へ

**Fast**

・・・速く、早期に

**Innovation**

・・・革新

**Realize**

・・・実現する

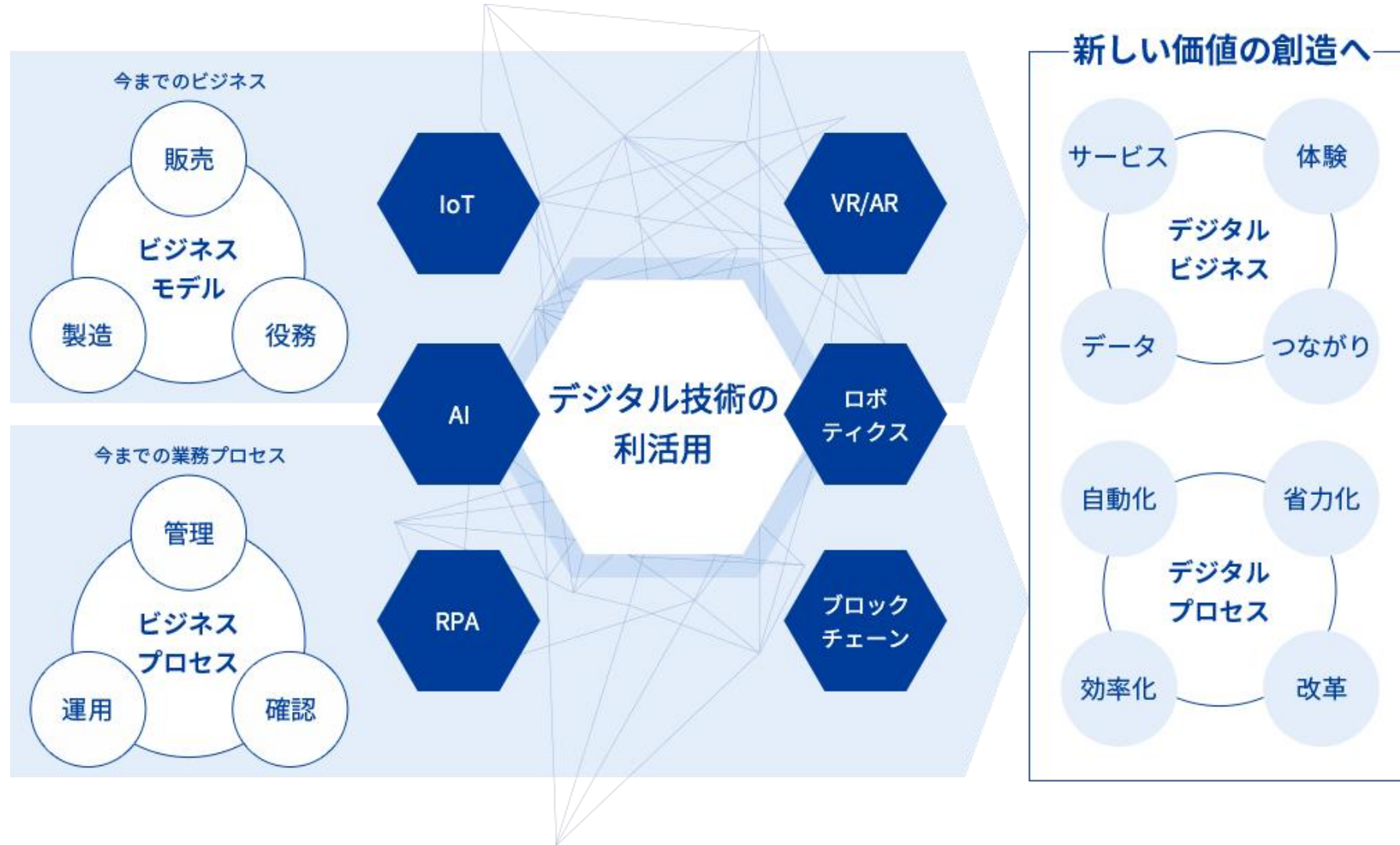
**Speed**

・・・スピード（市場投入やニーズ・要望の反映）

**Technology**

・・・技術基盤（最新のデジタル技術）

# NSWが考えるDXとは



# これまでのDX推進に向けた取り組み

- 提供ソリューション・サービス例

- DX顧客社数の推移

IoT

IoT Platform **Toami** IoT Platform **Toami Lite** IoT温度管理ソリューション **TempTime**  
Powered By ThingWorx Powered By ThingWorx

📶 Around Now! 電子棚札ソリューション

**NSW-MaaS** 飛行機ターミナル

AI・分析

Powered By ThingWorx **ToamiAnalytics**

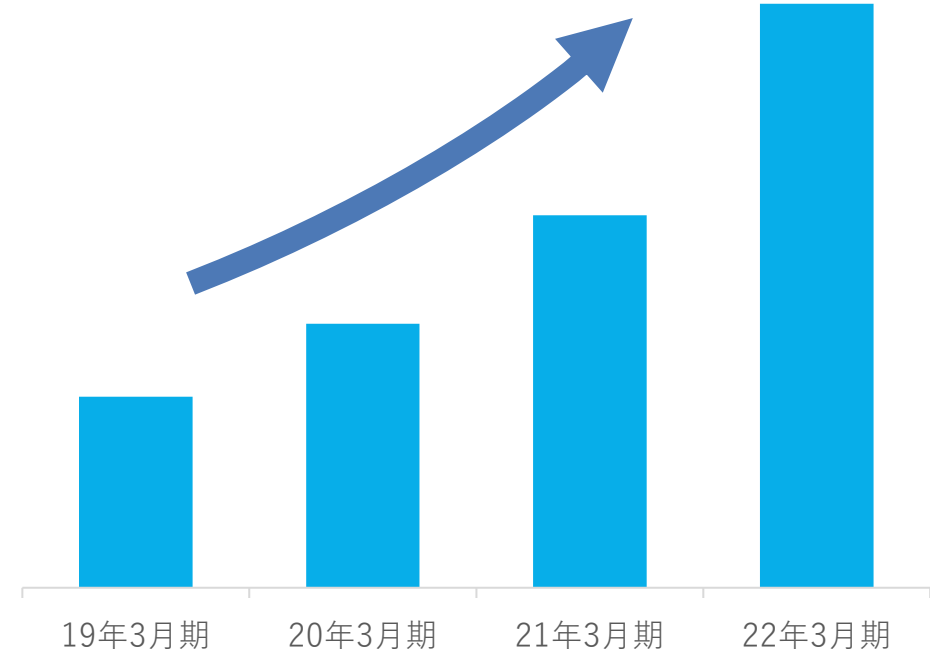
**CrackVision**  
Toami Vision Series

XR

**realwear** UNION AR

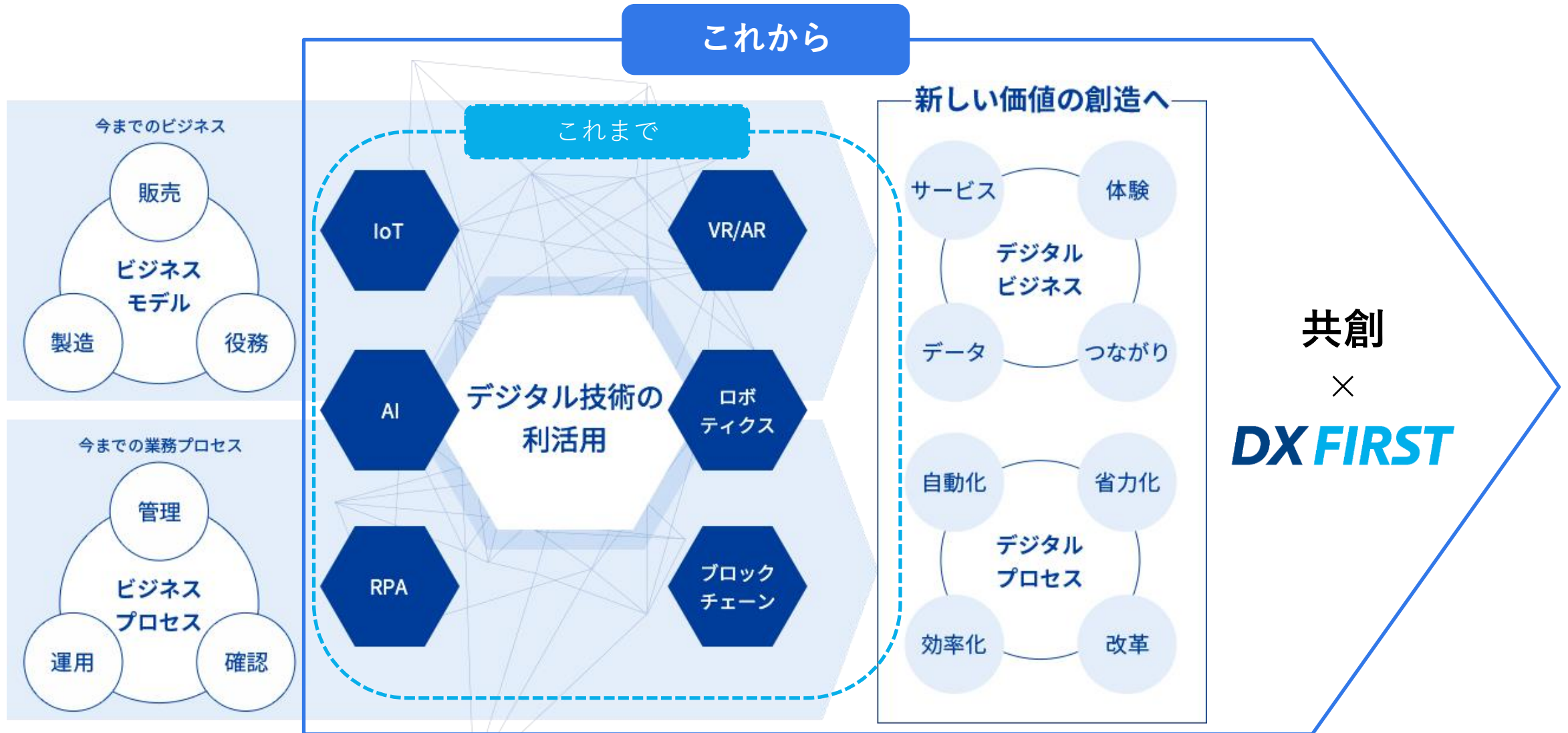
**ConstAR**  
Powered by Vuforia (R)

CAGR約45%



- ・ お客様のDX実現を支援する様々なサービスやソリューションを展開
- ・ 製造業中心に建設業への参入も進みDX顧客社数増加

# NSWが考えるこれからのDX



# NSWの強みと共創によりDXを実現

- ✓ 事業構想策定を得意とする  
コンサルティングファーム
- ✓ 最適な環境提供の基盤となる  
パブリッククラウドベンダー
- ✓ 各業種において専門性を有する  
ベンダー企業

パートナー

DX実現に向けた  
パートナー連携と  
デジタル技術

デジタル技術

- ✓ IoT
- ✓ AI・分析
- ✓ 5G/ローカル5G
- ✓ 自動運転
- ✓ ロボット/ドローン
- ✓ ブロックチェーン

## NSW

業種特化DX  
ソリューション

DX支援  
サービス

デジタル  
プラットフォーム

エッジコンピューティング

デバイス

**DX FIRST** × 共創

目指すべき  
DX  
(デジタル変革)

お客様

- ✓ お客様課題の解決
- ✓ ビジョン実現の支援
- ✓ 変革による成長



# **NSW**

**Humanware By Systemware**